

Information Magazine MUSATOKU LETTER

武蔵野徳洲会病院 地域密着型情報誌

7 NO.1
2017 JULY

特集：武蔵野徳洲会病院 2年のあゆみと今後の展望

創刊号



武蔵野徳洲会病院インタビュー

鈴木院長&阪本副院長・看護部
救急を支えるスタッフ

受診まるわかりガイド

皆様の声・募集記事

武蔵野徳洲会病院アクセスマップ



医療法人 沖縄徳洲会

武蔵野徳洲会病院
MUSASHINO TOKUSHUKAI HOSPITAL

MUSATOKU LETTER NO.1 2017 JULY

創刊号

特集：武蔵野徳洲会病院 2年のあゆみと今後の展望

編集・発行 武蔵野徳洲会病院

アクセス

【車の場合】

・五日市街道「ロイヤルホスト桜堤店」を北進
・青梅街道「都立田無高・小金井公園北東角」
を目標におこしてください

【バスをご利用の場合】

- ▶西武新宿線・田無駅南口
コミュニティバス(はなバス/第3ルート)
西東京市役所田無庁舎前
向台循環]行き乗車約10分
おおぞら公園西]下車すぐ目の前
- ▶JR中央線・武蔵境駅北口
関東バス(のりば5)
武蔵境駅(北口)より
ヴィーガーデン西東京]行き乗車約10分
武蔵野徳洲会病院]下車すぐ目の前



武蔵野徳洲会病院と田無駅南口を結ぶ「無料シャトルバス」の運行を行っております。

田無駅南口(ローソン前)発 → 武蔵野徳洲会病院行		武蔵野徳洲会病院発 → 田無駅南口(ローソン前)行	
平日(月~金)	土曜日	平日(月~金)	土曜日
7	55	55	-
8	15 35 55	15 35 55	-
9	35 55	35 55	-
10	15 35	15 35	-
11	15 35 55	15 35 55	-
12	-	-	-
13	45	-	-
14	15 35	-	-
15	15 35 55	-	-
16	15 55	-	-
17	-	-	-
18	-	-	-



注 ●日曜、祝日は運休となります。●運行状況により到着時刻が遅れる場合があります。
意 ●天候により運行が休止になる場合があります。●定員を超えての乗車は車内事故防止のためできません。
事 ●お身体の不自由な方は付き添いの方と一緒にご乗車いただけますようお願いいたします。
項 (車椅子は車内に持ち込めません)

NEW 8月より「東小金井駅ルート」のシャトルバス運行を開始します。詳しくはホームページを御覧ください。

救急は365日24時間対応しております。

医療法人 沖縄徳洲会

武蔵野徳洲会病院
MUSASHINO TOKUSHUKAI HOSPITAL

www.musashino-hp.jp

むさとく 検索

〒188-0013

東京都西東京市向台町3-5-48

■患者さん・代表: ☎042-465-0700

■健診ドック: ☎042-465-0769

■患者さん以外: ☎042-465-0792

■地域連携室: ☎042-465-0781



※ナンバーリクエストの導入について
当院では迷惑電話対策のため「番号非通知」のお電話を、お取り次ぎ出来ない設定にしております。大変お手数ではありますが、「番号通知」にてお電話いただけますようお願いいたします。

鈴木院長

武蔵野徳洲会病院 2年のあゆみと
今後の展望について

武蔵野徳洲会病院の鈴木洋通院長にお伺いいたします。

開院二周年おめでとございます。三年目に入りましたが、院長の掲げる「シームレス(とぎれない)な医療」についてお聞かせください。

途切れないシームレスな医療は、開院からの理念です。他の徳洲会病院は大学などの医療機関との連携が弱い事が多いですが、当院では近隣の大学病院と連携を進めています。

これにより、たとえば当院で診断しても当院では治療できないようなケースは、どんどん大学病院にお願いする。代わりに、その患者さんが大学病院での治療が終了し本院でも十分に対応出来るようになればこちらに戻つてもらおう、あるいは大病院や開業医の先生のところへ、全てを診断し治療ができるわけではないわけですから、その受け皿となり当院の設備を活用するなど、そのような事がシームレスな医療につながると考えています。

地域病院との関わりはいかがですか。

地域病院と連携をするにあたり、医師会に加入できたというメリットが大きいです。

なぜならば、西東京市にあるほとんどの病院は医師会に入っている。医師会の病院部会を通じてお互いの情報を交換しながら少しずつ、いい関係ができるようになってきています。この点は地域で今後徳洲会の医療をよりスムーズに展開するには必要条件であったと思います。

One day of President

18:00~翌朝	17:00	16:00	14~15:00	13:00	12:00	10~11:00	9:00	8:00	7:00
当直(救急対応)	会議	来客	外来診療 救急対応	会議	屋食しながら 打合せ	外来診療	健診ドック	八時会・朝礼	救急対応 病棟回診

「院長の1日」

地域住民の皆さんとの関わりや機会はいかがですか。

地域住民との関わりについては、近隣のイベントに救急班が参加したり、医療講演などを通じて啓蒙活動をすすめていたりしています。が、まだまだ町ぐるみ、あるいは住民ぐるみとまでは残念ながらできていません。いろいろなイベントを行うのもひとつですが、まずは、この病院に来てよかったと感じてもらえるようにしたい、それにはあと3年程かかると思います。この病院に来てよかった、ここに病院があつてよかったと、地域住民の方が感じてくれるような病院にしていきたいと考えています。

西東京市は、近隣の市町村に比べても若い人口が多い地域ですので、小児科に力を注いでいます。現在、当病院は小児科医が4人いますが、24時間体制で小児をしっかりとお預かり出来るかかりつけ病院にするには、まだまだ医師・看護師とも足らず、地域の病院や大学病院との連携なしでは小児医療はできません。まずは、あと二年かけて小児科病棟をオープンしていきたいと考えています。

院長先生が平成29年の目標で、①病院機能評価の受審・承認、②チーム医療の確立を立てられたと思います。

病院機能評価は、病院の質を担保する最低限のラインであり、第三者の目・世間の目での病院を見ていただく事が重要です。地域の方も「機能評価で承認されている病院」となれば、理解し易くなりますし安心につながる。機能評価の内容も常に進化をしていますので、ぜひ受審して評価に耐える病院にして行きたいと思えます。病院全体で取り組み今年中の獲得を目指しています。

度や血管の脈波伝播速度の関連性、口腔内ケアや睡眠の質などをしっかり評価し生活に密着した新しい高齢者の健康寿命を大切にしかもより快適なものにするための健診です。

今後の展望について

当面の課題はチームワークの基礎がまだ充分に出来ていないということ。それはあまり悠長なことはいってられないので、早急に基礎ができるような「型」を各部署で作ってもらっている段階です。同時に「クリニカル・パス」の活用を推し進めているところです。二年が経過し、どっという患者さんかどのくらい来るのか、年齢層は？等が、少しずつはつきりしてきました。それに合した「型」をつくりあげるのが現時点の急務です。院内に「意見箱」を設置しそこから都民ファーストを真似て患者ファーストを目指し皆様からの貴重なご意見を参考にしながら、幅広く色々な事例に対応し出来るように業務の改善に努めています。

最後になりますが、オンコロジーセンター(包括的がん治療センター)の開設備を進めています。これもすべてのがんに対応するという事ではなく、大学病院などとも連携し、がん治療の棲み分けを図ります。たとえば、外科手術は大学病院で受け、その後の放射線治療や化学療法は当院で引き継ぐ。このようにアフターケアを含めた包括的治療やがん健診を通して「途切れないシームレスな医療」を目指していきたいと考えています。

当病院の良いところ、患者さんに知ってほしいところをお聞かせください。

各職員が一生懸命やっている点です。経営的にはまだまだですが、職員の気持ちは皆一生懸命。そしてそれをどう表現していくかが重要です。知識や技術が未熟だと職員・患者さんともに敏感に感じ取り、戸惑います。そのためには患者さんの「正直な声」に耳を傾けることが重要です。その他にも健診・予防医療にも力を入れています。

多くのかたが70歳を超える頃に関節が痛くなったり、力が入りにくくなったりといったいわゆる整形外科的とされる症状に悩まされるようになりまます。実はこれらの裏には心臓や血管系の病気が多く隠されていることも少なくないのです。そこでそのことを踏まえて、来年から新しい健診を始めようとしているところです。すなわち骨密

チーム医療に大切なことは、

「型」を見極め、

しっかりと認識すること。



武蔵野徳洲会病院 院長
HIROMICHI SUZUKI

鈴木洋通

卒業：北海道大学 卒業（昭和50年）
当院就任前の勤務・役職
慶應義塾大学 内科医局
慶應義塾大学 内科助教授
埼玉医科大学 腎臓内科教授

趣味：蝶を愛で、ジャズを聴き、ラグビー観戦に興ず
座右の銘：「創造即人生」

救急科 副院長インタビュー 救急部 阪本副院長

阪本副院長に救急医療の現状を聞かせていただきます。



阪本 敏久 TOSHIHISA SAKAMOTO

卒業：大阪大学（昭和 51 年）
当院就任前の勤務・役職
防衛大学校病院 救急部 部長（教授）
趣味：ドライブ、音楽、スキー
座右の銘：「謙虚」

この地域における救急医療の役割はどのようなものでしょうか。

この地域には比較的大きな病院が密集しており、地理的に間を縫うような場所に作られました。専門的な大学病院ではなく、「ちよつとした異変」でも気軽に来ていただけるような「地域の頼れる大きな病院」を目指しています。

今年3月から東京ルール(救急患者の迅速な受け入れを目的とする取り組み)に当病院も参加しましたが。

当番日にあたる金曜日から土曜にかけて、救急搬送が圧倒的に増えました。80歳以上の高齢者などこの救急病院も受け入れが困難な患者さんが増えてきました。ここ数年、一人暮らしの高齢者がとても増えています。体の自由が効かない動けない高齢の方は、救急車を頼らざるを得ません。そのような方を受け入れることも、私たちの使命だと感じています。

救急隊との情報交換を密にされているとお聞きしますが。

救急隊の皆さんとのコミュニケーションは非常に大切です。患者さんの情報引き継ぎについて、こちらがほしい情報を救急到着時に尋ねたり、事前に教えてくれたりとお互いに理解を深めるいい関係になっていきます。また、院内でBLS講習などを実施する際は、救急隊に講師をお願いしています。これにより職員と救急隊との距離が一層近づきます。

断らない救急医療についてお聞かせください。

99%断らない医療という旗をあげていますが、なんでも受けるというスタンスの度量のある救急医の絶対数が全国的に少ないのが現状で、特に夜間はもっと難しいところ。残念ながら当院でも救急搬送が重なったり、夜間には断らざるを得ないのが現状です。もっとも若いエネルギーのある医師を集める必要があります。また、夜間の小児救急についての問い合わせも多いため、さらに救急の診れる小児科医増強も急務です。

最後になりますが武蔵野徳洲会病院の良いところを教えてください。

良いところは、全体のモチベーションが非常に高く、リーダーシップをとってくれる方も多。私たちは地域に根ざした病院「かかりつけ病院」になるべく、どんどん利用してもらって、色々な意味でも垣根をなくす（シームレス）ことが理想です。ホスピタルカルチャーが未成熟な分、どう作りあげていくか今後の楽しみです。皆様から愛される病院になれるよう努力してまいります。

看護部 × 渋谷副主任

救急外来は「救急患者を断らない」をモットーとしております。そのためスタッフ一同、それぞれで培ってきた経験・知識・知恵を出し合い、力を合わせて体制の強化を行っております。当院周辺地域は住宅街の他、介護施設が多くあり、高齢の患者様が内科・外科を問わず救急外来を受診されます。急な症状や怪我でこの先どうなってしまうのか不安でいっぱいの方も知れません。医師を中心としたチームによる迅速な治療・処置は当然ですが、患者様が少しでも安心して楽になれるようにこまめに丁寧な対応を心がけております。

また、一緒に来院されてくるご家族さんにも説明が必要で。帰宅後の観察や対応などお話しさせていただき、後日お電話で、患者様のその後の状態を確認させていただいております（FRIアフターコール）。看護によって患者様とご家族から「この病院でよかった、この病院でなくてはいけぬ」と言っていただけのように、地域のかかりつけ病院を目指してまいります。



渋谷あかね
東京消防庁・救命救急センター等を経て、現在に至る

救急を支える スタッフ



■臨床検査科（主任・塚越由香）

臨床検査科では、大きく分けて検体検査と生理検査を行なっています。検査結果を早く正確に出し、処置や治療、診断など診療のサポートをしています。

検体検査は、ご存知の血液検査（採血）や尿検査にあたります。検査結果が正常値か、正常値と比較して高値なのか低値なのかを診て、病気や重症度など医師が診断する際に役立つ検査です。

生理検査は、心電図、心臓や腹部などの超音波検査にあたります。私たち臨床検査技師が患者様の心臓や腹部の状態を診て、すぐに医師に結果を伝えていきます。その他、輸血が必要な患者様に対して24時間、対応可能な体制になっています。

■薬剤部（主任・篠塚 裕）

「救急車で病院に運ばれる!!」そんなことを想像したとき、どういった場面を想像しますか。交通事故?今までに感じたことのない痛み?それとも持病の悪化?これらのように様々なことが考えられます。その中でも「いまご自身が飲んでいる薬が悪さをしている」なんてことも少なくありません。そんな時は薬剤師の登場です。いま服用している薬を確認し、どれが悪さをしているか見極めていきます。また、必要な薬が必要な時にすぐ使えるよう準備もしています。救急車で運ばれる、病院で診てもらいたい、いずれの場合でも受

診の際はお薬手帳も忘れずに持ってきてください!薬剤師が皆様のお薬をチェックします。

■臨床工学科（主任・余地紀嗣）

臨床工学科は医師、看護師、他コメディカルと連携して生命維持管理装置の操作・管理を行ない、医療機器の安全性確保と有効性維持に貢献しています。当院での臨床工学科士の緊急時対応は、体内に貯まった老廃物などを排泄するいは代謝する機能が動かなくなった場合に行なう、透析・アフェレシスなどの血液浄化療法で使用する人工透析装置の操作をします。その他、緊急での心臓カテーテル治療にも関わっており、補助循環装置やペースメーカーの操作も行っています。

また、人工呼吸器や輸液ポンプ・シリンジポンプなどのトラブルにも対応しています。

■放射線科（技師長・濱野浩二）

救急医療の現場において初療による診断には画像診断は重要であり、患者さんの病状を左右する場合があります。近年の医療機器の進歩によりCTやMRI等の画像診断機器は迅速かつ正確な情報を提供出来るようになりました。画像診断機器の発展や多様化に伴い、診療放射線技師により高い専門性が求められています。その中でも救急医療の現場において重要性を増してきているのは読影の補助です。救急医療の現場では、疾患の見落としはあってならない事であり、それを読影の補助をする事で未然に防ぐことが重要です。救急医療という不規則な現場で臨機応変に対応するため、診療放射線技師の読影知識の向上は必須であり、より一層尽力する所でありま



武蔵野徳洲会 受診(丸)わかりガイド



私がご案内いたします!



人間ドック・健診

エレベーターで3階の「健康管理センター」へお越してください



Various Accepted 各種受付 STEP 2

再診または
診察券をお持ちの方

再診受付機にて受付

- 保険証・医療証は忘れずに、ご持参ください。
- 有効期限など確認させて、いただく場合があります。



新患・初診または
紹介状をお持ちの方

総合受付にて

- 初めて受診される方は「診療申込書」を記入し、受付にご提出ください。
- 紹介状をお持ちの方は受付にご提示ください。
- 上記合わせて、いずれの方も保険証や医療証のご提示をお願いします。



外来受診の際は健康保険証、各医療証(お持ちの方)を忘れずにお持ちください。有効期限が切れているもの、就職や転職、退職、扶養家族になったなど保険証が切り替わった時の古い保険証は失効しているため、使用できませんのでご注意ください。この場合、診療費は全額ご本人様負担となります。

来院 STEP 1

Visit

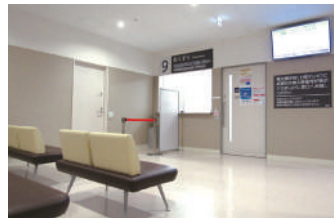
手指消毒をしましょう!

来院されたら、まず正面玄関にある消毒液で手指消毒をしましょう。石鹸で手を洗ってもOKです! 病院は、細菌などに抵抗力の弱い患者さんがいます。細菌などを「持ち込まない、持ち出さない」ために来院時、お帰りの際は**手指消毒、手洗い**をお願いします。



Medicine 処方 STEP 4

必要に応じて、お薬が処方されます。お薬は、病院の中でお渡しする「院内処方」とドラッグストアや薬局(かかりつけ薬局)でお渡しする「院外処方」があります。特に院外処方を希望する際は診察時にお申し付けください。院外処方せんは、お会計の際にお渡しします。院内処方せんは、お会計終了後、領収書に付いているお薬番号になります。お薬手帳をお持ちの方はお薬窓口にてご提示ください。



Accounting 会計

すべての診察・検査が終了となりましたら総合受付横の会計窓口までファイルを持ってお越しください。会計番号やお薬の引換券、次回の診察や検査等の予約票、診療情報提供書(紹介状)などお渡しします。※再診受付機にて受付を行なった方で保険証・各医療証を確認させていただく事があります。会計番号が電光掲示板に表示されましたら自動精算機にてお支払ください。クレジットカードも利用できます。自動精算機の操作がわからない場合は職員までお声掛けください。



Inspection 検査

必要に応じて、採血や心電図・CT・MRIなどの検査を行います。



Examination 診察 STEP 3

外来受付に受付票を提出していただき。診察の順番は、原則として予約順・受付順ですが、当院は「院内トリアージ制」を実施しています。これは順番に関わらず、医学的に緊急を要すると判断した場合や特に体調の優れない方などを優先して診察を受けていただくシステムです。外来受付には、有資格の「医師事務作業補助」スタッフがいいます。医師に予め伝えておきたいこと、聞きづらいことなど遠慮なくお申し出ください。患者さんご本人確認のため、診察、検査、お薬のお渡しなど行為ごとにフルネーム・生年月日を確認しています。ご協力をお願いします。

ご帰宅

ご意見箱

地域連携室から

皆様の「声」が地域の医療を支えています。

「ご意見箱」を設置しています。

当院では、ご意見箱を設置し、皆様からのご意見、お叱りなどをお聞かせいただいています。過去にいただいたご意見について、順次取り組んでおります。

【ご意見】簡単な検査(尿)なのに待ち時間が長い。

【改善】検査の内容に応じた、検査の動線を変更しました。また待ち時間を少しでも気持ちよくお過ごしいただくために、テレビと雑誌の配置を見直しました。

【ご意見】お薬を飲むための給水器を設置してほしい。

【改善】給水器は衛生上の問題と異物混入の危険性があることから、撤去しています。ご理解をお願いします。



■地域医療連携室
直通電話 ☎042(465)0781

患者さんをご紹介いただける開業医の先生、医療機関・福祉施設等の皆様へ

当院では、病病連携、病診連携を積極的に推し進めております。また、在宅訪問診療をされている先生で、患者さんの入院先にお困りになられましたら、お気軽にご相談ください。平日、月～金曜日は9時～18時30分まで、土曜日は9時～12時まで、3名の社会福祉士がご相談に応じております。

只今募集しています!

武蔵野徳洲会病院広報誌では、以下のような原稿を募集しています。

広報誌「むさとくレター」は、夏・冬・春・秋の年4回季刊発行を予定しています。つきましては、開業医の先生、地域の皆様から以下の原稿を募集しております。

①近隣開業医の先生ご紹介 近隣の開業医の先生、訪問診療をされている先生のご紹介をさせていただきます。250字程度で写真も一枚添付してください。

②表紙(写真やイラスト) 俳句や短歌などを募集しています。皆様のオリジナル作品を募集しています。

※紙面の都合上、せっかくご応募いただいたにも関わらず掲載できない事もあります。あらかじめご容赦くださいませ。
送付先：武蔵野徳洲会病院 地域連携室・齊藤まで

病院概要



名称 医療法人 沖縄徳洲会
武蔵野徳洲会病院
院長 鈴木 洋通
所在地 〒188-0013
東京都西東京市
向台町3-5-48
TEL 042-465-0700(代表)
病床数 210床
(一般160床・療養50床)
駐車場 269台
(敷地内地下駐車場)

併設施設

●介護老人保健施設 武蔵野徳洲苑



武蔵野徳洲苑は、当院に併設する施設であり、ショートステイを含む150床の介護老人保健施設です。武蔵野徳洲苑と協力し、地域に根ざした医療・介護・福祉をご提供していきます。

STEP 5 外来受診予約について Reservation

種別	予約受付時間	お問い合わせ先
新患・再診の方 紹介状をお持ちの方	平日13時～17時 土・日・祝は不可	代表 ☎042-465-0700
ワクチン接種	平日14時～16時 土・日・祝は不可	代表 ☎042-465-0700
人間ドック・健診	平日13時～17時 土・日・祝は不可	健康管理センター ☎042-465-0769
医療機関・介護施設 からの受診相談	平日9時～17時 (土曜12時迄) 土曜午後・日・祝は 代表番号へ	地域連携室 ☎042-465-0781

Q: 外来の予約をしたいのですが、どうしたら良いですか?
A: お電話で承っております。ただし、受診当日の予約は取れませんので、直接お越し下さい。
インターネットにアクセスできる方は、当院ホームページの「外来担当表」をご覧いただき受診を希望する診療科の診療日や時間をお確かめください。



外来担当表

紹介状をお持ちでない方 (初診時選定療養費について)

厚生労働省が推進する「かかりつけ医制度(医療機関の機能分担)」のため、20床(ベッド)以上の病院において、初診時の患者さんで、他の保険医療機関からの「紹介状(診療情報提供書)」をお持ちでない方が直接来院された場合、初診料とは別に「初診時選定療養費」という健康保険の使えない自己負担金が発生します。
しかし、武蔵野徳洲会病院では、紹介状を持たずに受診される患者さんや夜間等急病患者さんが、いつでも安心して受診していただける「かかりつけ病院」をめざし、初診時選定療養費をいただいております。
(2017年7月1日時点)

業務改善について

当院では皆様からのご意見、叱咤激励をお聞かせいただき、業務改善に努めています。
1階総合受付前と売店前の2ヶ所にご意見箱を設置しています。ぜひご意見をお聞かせください。改善例として、1階の売店前にラウンジスペースをご用意しました。



STEP 6 各種お問い合わせ Various Contact

お問い合わせ内容	電話番号	窓口対応時間
外来診療、入院、面会に関するお問い合わせ	患者さん優先・大代表 (医事課・電話交換) ☎042-465-0700	年中無休24時間
採用、各業者様、その他のお問い合わせ	患者さん以外・代表 (総務課) ☎042-465-0792	月～土(祝日除く) 8時～17時 (不通時は大代表へ)
医療機器、医療資材に関する業者様のお問い合わせ	資材課 ☎042-465-0723	月～金(祝日除く) 8時～17時 (不通時は大代表へ)
健康診断、人間ドックに関するお問い合わせ	健康管理センター ☎042-465-0769	月～金(祝日除く) 13時～17時 (不通時は大代表へ)
患者様のご紹介や転院等に関するお問い合わせ 公開医療講座に関するお問い合わせ	地域連携室 ☎042-465-0781	月～土(祝日除く) 8時～17時 ※土曜日は12時迄 (不通時は大代表へ)

病院の代表電話番号は「患者さん優先代表番号」として患者さんからの電話を優先しています。診療に直接関係の少ないご用件のお電話は、左記の電話番号表にそってお問い合わせください。患者さん優先に協力をお願いします。
尚、どこに問い合わせたらよいか分からない場合は、代表番号へお電話ください。また、お問い合わせいただいた該当部署に複数の電話が同時に着信した場合、違う部署の担当者が代わりにお電話を受けることがあります。あらかじめご了承ください。

